

事例10

< 事例概要 >

・アルツハイマー型認知症で加療中の 80 歳代の患者。死亡時画像診断（Ai） 無、解剖有。

・転倒・転落歴 有。睡眠薬、抗精神病薬内服中。頻尿・夜間排泄行動 有。意思疎通不明。

・転倒・転落リスク評価は不明。予防対策不明。

・入院時より歩行は安定していた。入院 30 日目の明け方、ベッドサイド床に倒れている状態で発見。声掛けに反応なし。右後頭部に腫脹あり、嘔吐あり。救急搬送先のCTで、急性硬膜下血腫と診断。転倒・転落当日死亡。